

だいせん市議会だより

あなたのギカイ

令和8年8月1日 第85号 令和8年第2回臨時会・第2回定例会の内容を分かりやすくお伝えします。



秋田県大仙市議会

CONTENTS

- こんなことが決まりました……………P 2
- 聞いてみたいなこんなこと……………P 6
- 行政視察・所管事務調査……………P 11
- 市政懇談会……………P 12
- きかせて！あなたのミライ……………P 14

ここでまちのことが決まっているんだね

高梨い3年生の議場見学（5月20日 大曲庁舎議場）

第2回臨時会 第2回定例会

議案審議

大仙市の

こんなことが決まりました。

第2回臨時会

会期1日間

4月27日



令和8年
第2回臨時会

第2回定例会

会期22日間

5月28日～6月18日



令和8年
第2回定例会

第2回臨時会

専決処分報告	5件
単行案	1件
補正予算案	1件

第2回定例会

人事案	28件
条例案	7件
単行案	4件
補正予算案	7件
陳情	1件
意見書	1件

今号では
この中から
4つを **Pick up**

全ての議案名と審議結果は、大仙市議会ホームページをご覧ください。



議案の審議結果

〈議案第58号〉 令和8年度大仙市一般会計補正予算（第1号）

Pick up 1

ツキノワグマによる被害防止策をさらに強化

ツキノワグマによる農作物被害や人身被害を防止するため、訓練や捕獲活動に必要な備品を追加整備し、対策を強化します。

こんな質問が出ました

鳥獣被害対策の資機材は、今回の追加購入によって充足するものか。今後も継続的な追加購入が必要になる見通しか。

今回追加購入することにより、センサーカメラ25基、わなベル33基、くくりわな73基となる見込みであるが、今後の鳥獣被害の動向や実施隊員の意向を確認しながら、隊員の負担軽減を図り効率的な活動を行っていき



備品	数量	内容・用途
軽トラック（リフト機能付き）	1台	・おりや資器材などの運搬 ・クマ搜索時に荷台をリフトアップし、高所からの搜索活動
A I 解析機能付き自動撮影カメラ	5基	A I で画像解析できるカメラ。クマの目撃情報が多い場所やおりの近くなどに設置し、クマを自動探知して通知するシステム
鳥獣捕獲探知システム	7基	捕獲情報をメールなどで通知するシステム
鳥獣用くくりわな	20基	獣道に仕掛け、捕獲する猟具

Pick up 2

10月からの主食費無償化に向け、 保育施設等に補助金

3歳以上児に主食提供を実施している、または今後実施する市内保育施設等に対し、主食米購入費および主食提供に必要な施設整備費の一部を補助することで、10月から主食費を無償化し、子育て支援を拡充します。

こんな質問が出ました

Q すでに主食を提供している法人については、単価が他施設よりも低価格であるが、提供されている給食の内容に遜色はないのか。
他施設と遜色ない内容で提供されていると認識している。当該法人は、米農家と直接契約するなど、仕入れ価格を抑える工夫をしていると伺っている。



○消防用軽四輪駆動小型動力ポンプ付積載車

配 備 箇 所／大曲支団第2分団、同第6分団、協和支団第3分団、仙北支団第3分団

○避難所用折り畳み式簡易ベッド

購 入 台 数／331台

○トイレトラック（防災用モビリティトイレ・トラックタイプ）

仕 様・規 格／トイレ室5室（普通トイレ室4、多機能トイレ室1）

使 用 回 数／950～1,300回

（使用量：清水タンク+汚物タンク 約1,100ml／回）



Pick up 3

防災力強化と避難所環境の向上を 図る

万が一の災害に備え、消防用小型動力ポンプ付積載車と中型免許（8t限定）で運転できるトイレトラックを購入し、防災対策を強化します。また、避難所用の折り畳み式の簡易ベッドを購入し、避難所のより良い生活環境確保と避難者の健康維持を図ります。

Pickup 4

かみおか温泉「^{だけ}獄の湯」を大規模改修

平成9年のオープンから29年が経過した、かみおか温泉「獄の湯」。老朽化による不具合を解消し、憩い・癒やしの場、健康増進拠点として、利用者に安全かつ快適な空間を提供できるよう、浴室棟を中心とした改修工事を行います。

なお、工事期間は入浴できませんが、飲食部門（レストラン、宴会）は営業を継続する予定です。

◆工期（予定）／9月から令和9年8月まで

◆工事箇所／浴室棟（外部屋根、男女大風呂浴槽、浴室天井パネル、浴室床タイルなど）

こんな質問が出ました

施設利用の一部休止中、従業員の処遇や業務配置はどうするの？

A 営業を継続する飲食部門や、同一事業者が管理運営する「道の駅」へ配置換え、または他の市所有温泉施設等への応援人員として、雇用継続に配慮したい。



浴室棟の改修工事を行う、かみおか温泉「獄の湯」

特別職の給与月額と議員報酬月額が改定

7月1日から、市長等常勤特別職の給料月額と市議会議員の報酬月額が改定されました。

今回の改定は、老松市長からの諮問を受け、市の公共的団体等の代表者などで組織される大仙市特別職報酬等審議会が審議。審議会から市長に対し、「諮問された内容での改定が妥当」との答申があり、市議会第2回定例会での議決を経て決定しました。

○審議会からの付帯意見

前回の答申から12年という長期間を経て行われたことを踏まえ、今後は定期的に審議会を開催し、特別職報酬等の額の水準について継続的な検証を行うべきである。また、議員定数について、今後の人口減少を見据え、定数の見直しを検討されたい。

常勤特別職の給料月額

（単位：円）

区 分	改定前	改定後
市 長	845,000	974,000
副市長	682,000	765,000
教育長	635,000	654,000
上下水道 事業管理者	610,000	628,000

報酬月額

（単位：円）

区 分	改定前	改定後
議 長	510,000	574,000
副議長	466,000	524,000
議 員	432,000	486,000

討論

第2回定例会で討論された内容を紹介します。

大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定（議案第87号）、令和8年度大仙市一般会計補正予算と令和8年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（議案第92・93号）に対し、次の意見がありました。

反対討論

佐藤 文子 議員（日本共産党）

国民健康保険税の課税区分に「子ども子育て支援金」分が加わることで、所得割が13・1%から13・43%に、均等割額が1人当たり3万500円から3万1300円に、平等割が1世帯当たり4万3千円から4万4100円に増税となる。

政府は、少子化対策のための財源を社会保障改革の枠内だけで確保しようとしており、国民の負担は重くなるばかりである。政府は、深刻な少子化に歯止めをかけ、子育て支援充実のための財源を大幅に増やすべきである。

全ての国民が加入する「国民皆保険制度」に乗じて、公的医療保険料から少子化対策目的の支援金を徴収する子ども子育て支援金制度は廃止すべきという立場から反対する。

大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定（議案第103号）について、次の意見がありました。

反対討論

佐藤 文子 議員（日本共産党）

現在の議員報酬額は、県内13市中3位、全国の類似団体40市中2位に位置している。令和7年改選後は、引き上げに転じて議論が進められ、平成18年から令和6年までの賃金上昇率および全国市議会議長会が議員報酬の目安とし公表している「市長給の概ね2分の1を最低基準とすることが適当」との基準を根拠として12・5%引き上げることが、市民感情を尊重しているとは思えない。報酬の現行維持を求め、引き上げには反対である。

賛成討論

小笠原 昌作 議員（新公会）

現在の議員報酬額は、平成18年度に定められてから20年間改定されていない。議員報酬の水準は、幅広い人材が議員に挑戦できる環境づくりに関わる。現役世代や子育て世代、さまざまな職業経験を持つ人材が議会活動に参画しやすくすることは、議会の多様性を高め、市民の多様な声を市政に反映することにつながる。今回の改定は、将来にわたり大仙市議会の機能を維持・向上させ、市民の負託に応えるための環境整備であると考えてる。

令和8年第2回定例会 賛否一覧

この表は賛否が分かれた案件のみ記載しています

議案等名	会派・議員名	議決結果	だいせんの会						たすきの会					けやきの会					公明党		早良薨	夷ノ	参政党	新政会	
			高橋 徳久	佐藤 芳雄	高橋 敏英	高橋 智也	古谷 武美	橋村 誠	石塚 柏	山谷 喜元	橋本 琢史	門脇 智宏	後藤 健	青柳 友哉	佐藤 隆康	佐藤 育男	大山 利吉	安達 成年	佐藤 芳則	本間 輝男	秩父 博樹	梶野 利恵	佐藤 文子	菊地 伸	小須田逸子
議案第87号 大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○
議案第92号 令和8年度大仙市一般会計補正予算（第2号）		原案可決	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○
議案第93号 令和8年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○
議案第103号 大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第104号 令和8年度大仙市一般会計補正予算（第4号）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

○：賛成 ●：反対 欠：欠席者 議長は採決に加わりません。

一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活に関わる内容はありますか？

質問議員 9人 質問項目 18件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。
各議員顔写真の下にあるQRコードを読み取り、ご覧ください。

聞いてみたい
こんなこと



バス運行の 安全性確保について



菊地 伸
(市民クラブ)



Q バス路線維持、安全運行に向けたバス運行会社の人材確保を含めた支援策について、市の見解を伺う。

A バス路線の減便や廃止を防ぐため、「生活バス路線等維持費補助金」により、生活に不可欠な路線の経常損失額を補填し、近隣自治体と連携して路線維持・存続を図っているほか、若年者を対象に各種免許の取得経費の一部を補助している。

運転手不足の解決に向け、高校生や若年層対象の職場体験や見学会を実施し、運転士の魅力や社会的役割を実感する機会を創出したい。また、退職者やシニア層の再雇用促進、事業者協力型公共ライドシェアの導入検討など、交通事業者と連携した採用支援を推進し、担い手確保に努める。

今年度は太田地域で効率



このほか、持続可能な除排雪体制の構築、充実した幼児教育・保育の運営について質問しました。

的な運行を可能にするAIオンデマンド配車システムを活用した乗合タクシーの実証運行を予定している。これにより、運行の効率化や運転手の負担軽減、利用者の利便性向上に関する結果を検証し、バス路線の再編を検討するなど、交通運営モデルの確立を図る。

企業誘致について



門脇 智宏
(たすきの会)



Q

大曲西根地区に整備された企業団地への企業誘致の経緯と現状について伺う。

A

現在、分譲9区画のうち3区画に立地している。立地の際は県財務規則による審査に付されるとともに、本市の企業団地分譲要綱により業種・立地を制限しており、選定委員会で立地企業の資格要件等を確認し、決定している。6区画、約6ヘクタールが分譲可能である。

Q

コストコなど大型小売施設の誘致は、地域経済の活性化など多大な効果をもたらすと考えられるが、こうした企業誘致に対する方針を伺う。

A

雇用創出や税収増に加え、地域産業との連携効果による地域経済の底上げにつながる事例も多いことは承知している。

しかし、大曲企業団地は、農村産業法に基づく実施計画により立地可能な産業を



大曲西根地区の大曲企業団地

製造業4業種に限定しており、特例措置として農振除外・農地転用を進めた経緯があるため、外資系小売業を計画に盛り込むことは、極めてハードルが高いと考えている。

また、市が誘致に関与する場合は、将来のまちづくりや誘致先の土地利用計画の見直し、市の財政負担、住民や関係団体の意見調整などを踏まえ決定する必要がある。誘致の可否については慎重にならざるを得ないが、可能性を排除せず、方向性を見いだしていきたい。

観光地域づくり法人(DMO)について



青柳 友哉
(たすきの会)



Q

人口減少が進む中、地域の外から人を呼び込み、消費と活力を取り込む観光は、地方に残された数少ない成長の手立ての一つである。行政・事業者・住民といった多様な担い手が、力を合わせて地域を観光地として育てていく中で、関係者をつなぐ「ハブ」の役割を期待されているのが観光地域づくり法人(DMO)だ。その設立に向けた準備として、まずは関係機関等とともに公民連携によるプロジェクトを実践し、必要な役割と機能を洗い出していくべきではないか。

Q

デステイネーション化(「ついでに立ち寄ろうか」ではなく「あそこに行きたい」と選ばれる地域にしていきたいこと)と、住民生活の質の向上の両立に向けた、市の決意を伺う。

A

住民生活の質の向上、地域のデステイネーション化、共に頑張りたい。行政、民間、そして市民の皆さんが同じ方向を向いて、しっかりと動けるように、DMOの設立、そして観光戦略の準備をしていきたい。

A

複数の主体が連携するプロジェクトの実践は、市としても大切だ。市民に恩恵をもたらす「大仙市観光」の実現につなげたい。



大仙市版 DMO 設立に向けた勉強会
(6月24日)

観光地域づくり法人(DMO: Destination Management/Marketing Organization)

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った「観光地域づくりの司令塔」として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定し、着実に遂行する機能を備えた法人

経営所得安定対策等（農業）について



安達 成年
(けやきの会)



Q 園芸振興作物の産地交付金の市のかさ上げについて伺う。

A 本交付金は各市町村の農業再生協議会において、国の交付金の範囲内で振興作物等の交付単価を定めており、市単独のかさ上げ助成については現在実施していない状況である。

同協議会では、令和8年度の事業推進に向け「水田収益力強化ビジョン」を一部見直し、県の重点品目であるキュウリとスイカ、市の振興作物であるイチゴとホウレンソウを新たに加え、市における作付面積の大きい枝豆、ネギについては交付単価を加算した。

国では令和9年度より水田における転換作物に対する支援から、畑地を含め生産性向上対策の実施を支援の要件とするなど、水田活



用の直接支払交付金を大きく見直す方針としている。今後、国の動向を注視しながら、市のかさ上げ助成も含め、支援策を講じていきたいと考えている。あわせて新規就農者や意欲ある農業者が高収益作物の持続的な生産体系の構築が可能となるよう、本市農業の担い手を支援していく。

このほか、真木真昼県立自然公園の国定公園化、第二次大仙市学校規模適正化推進計画関連、大仙市ファミリーサポートセンター事業について質問しました。

園児・児童・生徒への虫歯予防のための「フッ化物洗口」への対応について



小須田逸子
(参政党)



Q 誤飲および体調悪化、事故の有無と管理体制を伺う。いずれも、これまで事故等の報告は受けていない。

A 管理体制について、小・中学校では、学校歯科医の指示書をもとに1回分の薬剤を学校薬剤師が希釈調整し、薬局で受け取っている。保育施設では、嘱託歯科医の指示書をもとに、保育士が各保育施設で希釈調整している。薬剤は、子どもたちの目に触れない場所での管理されており、大仙保健所の歯科衛生士による保育施設への巡回指導時に、薬剤管理簿と薬剤の残量を確認している。

Q 使用する洗口液の指定、購入の仕方について伺う。

A 歯科医師や歯科衛生士等で構成される県の保健対策協議会歯科保健部会で決定した薬剤を使用しており、市が市内業者から購入している。



Q どのような方法で同意確認をしているのか、いつでも変更できるのか伺う。

A 保護者の希望調書を保育施設、学校でそれぞれ取りまとめ確認しており、年度途中でも変更できる。

AQ 今後の方針について伺う。

子どもの時期からの虫歯予防が、将来の健康な歯、全身の健康維持に極めて重要と考えている。保護者の意思を十分に尊重しながら、安全管理を徹底した上で事業を継続し、子どもたちの健康な歯を守る取り組みを推進していく。

「関係人口」の深化と「ふるさと住民登録制度」の創設について



秩父 博樹
(公明党)



Q これまで取り組んできた「関係人口の創出・拡大」に関する、市の現状認識を伺う。

A 子育て世帯向け移住体験や魅力体験ツアーの開催、魅力体験住宅の運用など、特に移住への関心が高い方との関係を築いてきた。「大曲の花火」を通じた観光客やふるさと納税寄付者など、集客や寄付を契機に生まれたつながりを、いかにして大仙市ファンとして定着させていくかが、関係人口を増やす大きな鍵であると考えている。

Q スマートフォンアプリ等を通じて「大仙市ふるさと住民」になってもらい、関心に合わせた情報発信やデジタル住民票の発行、市外にしながら地域課題の解決（副業やボランティア）に参画できる仕組みをつくってはいかがか。

A 「ふるさと住民登録」は、



大仙市魅力体験ツアー

関係人口の深化と増加を図る上で有効だと考えている。総務省のモデル事業で、全国の各モデル自治体が民間パートナー等と連携し、地域特性に応じた多様な共同プロジェクトを開始した。費用対効果や個人情報管理の体制整備などを精査しながら、モデル事業の動向を注視・研究し、本市でどのようなプラットフォームが最適であるか、関係部局間で連携を図りながら検討していきたい。

このほか、地域医療の継続性と病院経営の健全化の両立について質問しました。

「若者議会」の設立の可否について



佐藤 芳則
(けやきの会)



Q 「若者議会」の先進地視察を行い、若い世代の意見や考え方をまちおこしに反映させることができる有効な手段と感じた。市における設立の可否について、見解を伺う。

A 愛知県新城市の「若者議会」は、若者自らが地域課題の解決に向けた政策を立案し、

予算提案するなど、主体的な地域参画を促す先進的な取り組みであり、若者の意見を市政に反映する有効な手法の一つであると捉えている。

本市では、「中学生議会」や「市民による市政評価」、「総合計画」および各個別計画の策定課程で「アンケート調査」や「ワークショップ」を行い、若い世代が市政に触れ、意見を述べる機会の確保に努めてきた。

「若者議会」の設立は、参加者の確保や継続的な運営体制の構築、提案事業の予算措置、既存施策との整合性に加え、地域協議会や各種審議会などの役割分担など、整理すべき課題もあり、現時点では困難であると考えている。

しかしながら、若者の声を継続的かつ組織的に市政へ反映させる仕組みづくりは、重要な視点であり、先進事例や効果等を研究し、本市の実情に即した若者の市政参画の在り方を検討していく。

このほか、人口減少社会への対応と社会減の抑制について質問しました。



学校教育費無償化をさらに前へ



佐藤 文子
(日本共産党)



Q 学校給食費の無償化に続き、学用品や修学旅行の無償化を実施し、「義務教育は無償」をさらに前に進めてはどうか、市の見解を伺う。

A 昨年度の調査によると、授業で使うテストやドリル、実習材料等の教材費をはじめ、生徒会費、体験活動費等を含む一年間の学年集金の平均額は、小学校が約2万5千円、中学校が約5万9千円となっている。修学旅行費の平均は、小学校が約3万5千円、中学校が約8万3千円となっている。

市では現在、経済的に厳しい家庭に対して、就学援助制度の中で、新入学用品費や毎年の学用品費については一定額を、修学旅行費については実費を支給している。

多くの学校では電卓を常備し、授業で使用する際に児童・生徒に貸し出して



いる。小学校で使用するそろばんや、中学校で使用する彫刻刀についても同様の対応が見られるなど、保護者負担の軽減を図る取り組みが広がっている。

学用品費や修学旅行の無償化は、市全体の子育て支援制度の中で考えていく必要があるが、引き続き、保護者負担の軽減に努めていく。

このほか、国保税均等割18歳年度末まで0について質問しました。

ダイバーシティ（多様性）推進について



利恵 利恵
(公明党)



Q 本市における、市民へのダイバーシティの理解促進に向けた取り組みについて伺う。

A 社会環境が大きく変化する中、年齢や性別、障がいの有無、国籍、価値観など、それぞれの違いを認め合い、誰もが個性を発揮しながら地域社会の中で活躍できる環境づくりが重要になっている。

市では、社会の変化を的確に捉えながら、SDGsの理念にも通じる「ダイバーシティ&インクルージョン」の考え方のもと、人権啓発活動や人権教育の推進、多文化共生に向けた情報提供や相談体制の充実、公共施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入など、誰もが安心して暮らし、自分らしく活躍できる社会の実現に向け、取り組みを進めている。

また、市広報やホームページなどを通じた情報発

信や市民・企業向けの理解促進セミナーの開催、市内図書館への関連図書コーナー設置など、多様性について考える機会の充実に努めている。

ダイバーシティの推進は、市政のあらゆる分野に関わる重要な視点である。人権、福祉、教育、多文化共生などの取り組みを通じて、多様性を尊重する意識の醸成に努め、誰もが活躍できる包摂的なまちづくりを推進していく。

このほか、大仙市公共施設予約サービスについて質問しました。



教育厚生常任委員会 行政視察・所管事務調査

4月14日、秋田市の秋田緑ヶ丘病院の視察、4月22日には屋内遊び場施設整備事業と、せんぼくちびっこらんの所管事務調査を行いました。

秋田緑ヶ丘病院では精神科病院の経営を視察。同院では、医業収益による黒字化を基本とし、入退院の循環を意識したベッドコントロールや、多職種による情報共有を徹底することで、受け入れ体制の維持と安定した経営を実現していました。また、訪問看護や介護施設等と連携し、社会復帰を支援していました。

令和9年度開業予定の屋内遊び場施設の所管事務調査では、遊具の安全性や熱中症対策、利用促進などについて当局の方針を確認するとともに、より良い施設整備となるよう提案や意見交換を行いました。

また、せんぼくちびっこらんどでは、わかば園とみどり園の園舎統合後の現地を調査し、統合後の運営状況や今後の改修計画、人員体制、物価高騰の影響等について説明を受けました。

より良い行政サービス実現のため、引き続き、調査・研究を重ねてまいります。

(教育厚生常任委員会

委員長 石塚柏 記)



(写真左から) 視察した秋田緑ヶ丘病院とせんぼくちびっこらんど

産業建設常任委員会 所管事務調査

5月15日、市内で現地視察を実施しました。

はじめに、市道松倉土川線の土砂崩れ現場を視察しました。本路線は4月の発災以降、現在も約4キロメートル区間が全面通行止めとなっており、現場では斜面からの土砂崩落や側溝の損壊、路面の著しい隆起などの深刻な被害状況を確認しました。当局からは地すべりの疑いもあるとの説明があり、この6月から調査業務に着手し、国の災害査定受験を目指す方針が示されました。

次に、国や県、市が直接助成するJA秋田おぼこの共同乾燥調製施設（カンントリーエレベーター）等の再編事業について、対象施設の一部を視察しました。視察したいずれの施設も、内部設備の老朽化や、維持管理にかかる人手不足やコスト増大が問題となっており、本事業により、最新設備導入による施設利用率の向上と、集出荷コストの削減などが図られる見通しであるとのことでした。

(産業建設常任委員会

委員長 安達成年 記)



(写真左から) 視察したカンントリーエレベーターと土砂崩れの被災現場

市内 8 会場に延べ74人が参加 大仙市議会「市政懇談会」

市政懇談会参加者数

(※) ワールドカフェ方式

期 日	会 場	参加者数
6/23(火)	協和庁舎	13人
	大綱交流館(※)	6人
6/24(水)	神岡市民センター	8人
	南外コミュニティセンター	5人
6/25(木)	中仙農村環境改善センター(※)	16人
6/26(金)	おおたコミュニティプラザ	11人
	さくまろ館	5人
6/27(土)	はなび・アム(※)	10人

大仙市議会「市政懇談会」が6月23日から27日までの5日間、市内各地域で行われました。

議員が4班に分かれて地域を訪問し、議員活動や議会の取り組みのほか、令和8年度の主な事業などを紹介後、市民の皆さんと意見交換を行いました。参加者からは、地域の声や暮らしの課題、市に対するさまざまなご意見をいただきました。

懇談会の内容やいただいたご意見は、今後発行される市議会だよりや市ホームページでお知らせします。

今年度は3会場に増やして開催

「ワールドカフェ方式」

昨年好評をいただいた「ワールドカフェ方式」での懇談会。少人数のグループに分かれ、和やかな雰囲気の中で自由に意見を出し合う対話スタイルで、参加者同士が気軽に話せるのが特長です。今年度は、西部、東部、大曲の3地域で開催。「地域交通」「子育て支援」「道路・除

雪・農業」の3つのテーマごとに、互いの思いや提案を語り合いました。参加者からは「とても良い機会だった。市政懇談会の開催をPTAでも周知してほしい」「議員さんと話しやすく、一緒に考えることができて良かった」などの声をいただきました。



(写真上から) 西仙北会場、中仙会場、大曲会場

本間輝男議員、橋村誠議員、古谷武美議員が表彰



(写真左から) 本間議員、橋村議員、古谷議員

5月27日に東京都で開催された「全国市議会連合会第102回定期総会」で、本間輝男議員、橋村誠議員、古谷武美議員が表彰され、第2回定例会初日の本会議開会後に後藤健議長から表彰状が伝達されました。表彰、おめでとうございます。

○議員在職25年以上表彰 本間 輝男 議員
○議員在職20年以上表彰 橋村 誠 議員
○正副議長在職4年以上表彰 古谷 武美 議員



沖縄県沖縄市の視察受け入れ

全国各地の議会議員が、大仙市の施策を学ぶため視察に訪れています。担当職員による説明のほか、活発な質疑応答を通じて大仙市の実情や取り組みを紹介しています。訪れる側にとっては先進的な取り組みを直接学び、自らのまちの課題解決や新たな政策づくりに役立てる大切な機会です。受け入れる側にとっても、取り組みを全国に発信し、他自治体から質問や意見を受けることで施策を客観的に見直すきっかけになります。意見交換や情報共有による学び合いを通じて、市の魅力や取り組みを広く発信し、今後のまちづくりに生かしていきます。

大仙市のこんな取り組みが学ばれています

令和7年度下半期 全国からの行政視察受け入れ状況

No.	期日	市町村名	人数	視察項目
1	10月22日(水)	新潟県三条市	7	小・中学校における学力向上の取り組みについて
2	10月30日(木)	東京都足立区	8	健幸まちづくりプロジェクトについて
3	11月 4日(火)	栃木県宇都宮市	9	学力向上の取り組みについて
4	11月 6日(木)	静岡県沼津市	12	都市型観光のまちづくりについて
5	11月 6日(木)	沖縄県沖縄市	9	大仙教育メソッドについて
6	11月11日(火)	岩手県奥州市	9	スマート農業の取り組みについて 大仙市農業振興情報センターの取り組みについて
7	11月13日(木)	山形県上山市	6	大仙教育メソッドについて 学力向上の取り組みについて 小・中連携教育の取り組みについて
8	11月14日(金)	栃木県小山市	7	大仙教育メソッドおよび学力向上について

きかせて！あなたのミライ

大仙市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



ながさわ みさき
長澤 美咲 さん （花館小学校6年）

■私は、物を作ったり、手を動かしたりすることが好きです。教科では、家庭科と図工が好きで、調理や裁縫が得意です。家族からも「器用だね」と言われます。理科も好きで、実験や自分で調べていくことが楽しいです。■ゲームが大好きで、最近はまた「妖怪ウォッチ」に夢中になっています。小さい頃はゲームクリエイターになりたいと思っていました。でも今は、ゲームは作る側よりも、やる側として楽しみたいと思っています。■大人になってもこのまちに住んで、地元に関わる仕事がしたいです。将来は、道の駅の職員さんになりたいです。商品を並べたり、レジを打ったり、店内を掃除したりといった店員さんとしての仕事をしてみたいです。それに、食べることも大好きで、地産地消っていいと思うので、地元のおいしいものを仕入れて売ってみたいです。

9月定例会

日	月	火	水	木	金	土
8/16	17	18	19	20	21 本会議 議案等上程	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	9/1	2	3 本会議 一般質問	4 本会議 一般質問	5
6 各常任委員会 議案審査等	7 各常任委員会 議案審査等	8 各常任委員会 議案審査等	9 各常任委員会 議案審査等	10 各常任委員会 議案審査等	11	12
13	14	15	16	17	18 本会議 委員長報告等	19

※定例会日程は変更される場合があります。
変更内容は、議会ホームページでお知らせします。



市議会だよりのご感想などをお寄せください

市議会だよりのご感想や大仙市議会に対するご意見、ご要望などを次の方法により、議会事務局へお寄せください。

- ①郵 送／〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号
大仙市議会事務局あて
- ②FAX／0187-62-8822（議会事務局専用）
- ③メール／gikai@city.daisen.lg.jp

こちらのQRコードからメールを作成いただけます。



議会の傍聴について

本会議および委員会は公開されており、傍聴することができます。傍聴をご希望の方は、議会開会日に、市役所大曲庁舎3階議会事務局窓口までお越しください。

請願・陳情について

9月定例会で審査される請願・陳情は、8月13日（木）までに提出されたもので、それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

編集後記

委員
佐藤 隆康

■6月の定例会後に市政懇談会を行っています。この編集後記も市政懇談会の真っ最中に作成しています。皆さまと普段何気なく会話をしていますが、市政懇談会となると正直緊張します。お時間を作って参加していただいた方々には、ご協力ありがとうございました。■「対話」という言葉を意識しています。私たちも立場はありますが、大仙市民です。年齢、地域、職業、それぞれ生活環境が異なることで対話が生まれ、問題意識を持ち、解決への糸口を探り、皆さんのお力で市政が育っていくのかと思います。空回りではなく着実な一歩を見つけないといけません。■皆さん、井戸端会議に参加しましょう。そして、また笑顔でお会いしましょう。

Facebook と Instagram で議会の情報を発信しています

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

